Laney
POWER TO THE MUSIC

LANEY LR20

取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0825　千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Laney 商品をお買い求め頂きありがとうございます。Laney が開発し製作した商品はあらゆるディティールにこだわり、丹精込めて作り上げています。末永く楽しんでいただけることと信じています。Laney の歴史を振り返ると、Lyndon Laney が幼い頃、自宅のガレージで真空管アンプを開発していた 1967 年までさかのぼることになります。そして現在に至るまで、ギター、ベースを始め、PA 機器、キーボードアンプ等、様々な分野での商品をエンドーサーである世界的に有名な数々のミュージシャンとともに開発し、成長を重ねてきました。もちろん、我々Laney 商品が世界に注目されるようになったきっかけでもある“ミュージシャン”が求める素晴らしいサウンドであることを最優先に開発を続けています。

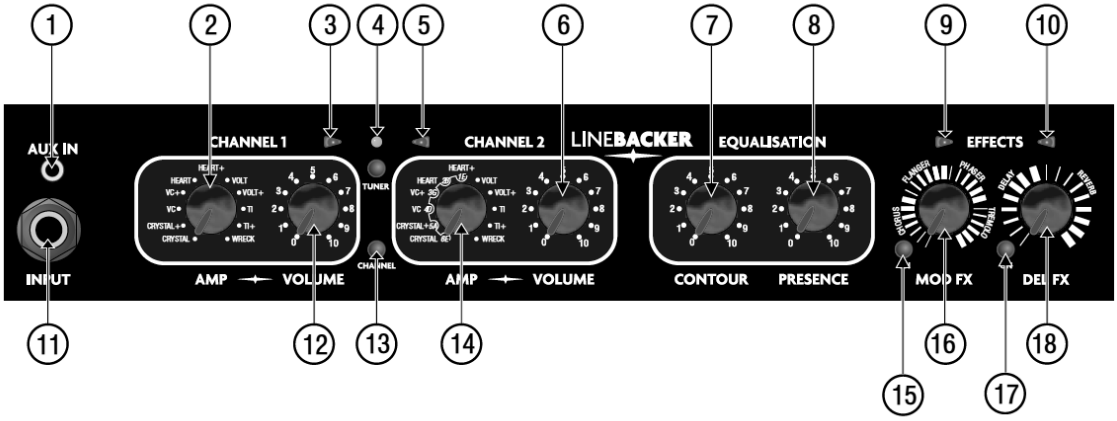
ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないでください。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないでください。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いてください。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止めください。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止めください。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用してください。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないでください。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意ください。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用してください。
13. AC100V-120V、50/60Hz にてご使用ください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

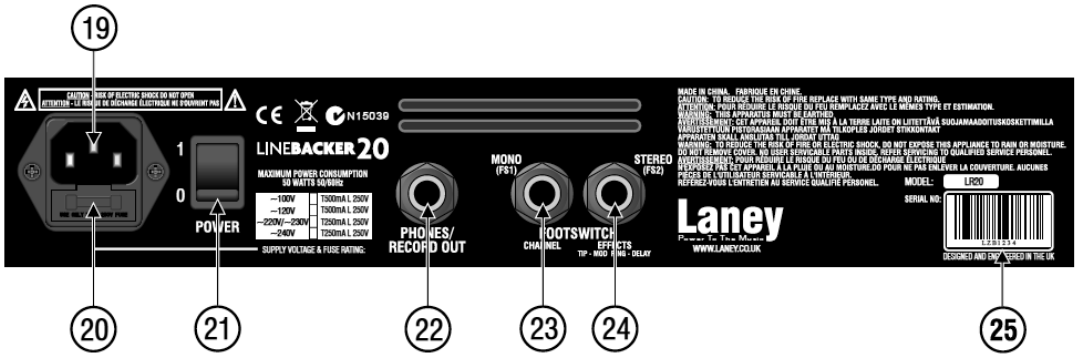
各部の名称

前面パネル



(1)AUX IN　ジャック
(2)CH1 アンプ選択コントロール
(3)CH1 LED
(4)チューナーLED とボタン
(5)CH2 LED
(6)CH2 ボリュームコントロール
(7)CONTOUR コントロール
(8)PRESENCE コントロール
(9)MOD FX LED
(10)DEL FX LED
(11)GUITAR INPUT ジャック端子
(12)CH1 ボリュームコントロール
(13)CHANNEL 選択スイッチ
(14)CH2 アンプ／チューナー選択コントロール
(15)MOD FX on/off ボタン
(16)OD FX コントロール（コーラス、フランジャー、フェイザー、トレモロ）
(17)FX on/off ボタン
(18)FX コントロール（ディレイ、リバーブ）

背面パネル



(19)コンセント挿し込み口
(20)ヒューズトレイ
(21)スイッチ
(22)ヘッドフォン／レコード出力端子
(23)CHANNEL フットスイッチ端子
(24)エフェクトフットスイッチ端子
(25)型番とシリアル番号の表示

※予備のパワーヒューズがトレイの中に入っています。
※ 使用しない時は、スイッチをオフにし、電源コードを抜いてください。

各部の働き

(19)電源コンセント挿し込み口：付属の電源コードを接続します。

(21)電源スイッチ：電源オン/オフを切り替えます。

(11)GUITAR INPUT ギターケーブルを使ってギターを接続します。

(2)(14)CHANNEL1&2 アンプモデル選択:プログラムされた様々なモデルから選択してください

(6)(12)各チャンネルのボリューム調節：チャンネルごとに音量を調節できます

(7)(8)CONTOUR／PRESENCE コントロール：音質を調整します。

(9)(15)(16)MOD FX: モジュレーションエフェクトを、コーラス、フランジャー、フェイザー、トレモロから選択・コントロールできます。

(10)(17)(18)DEL FX:ディレイ、またはリバーブからエフェクトを選択・コントロールできます。

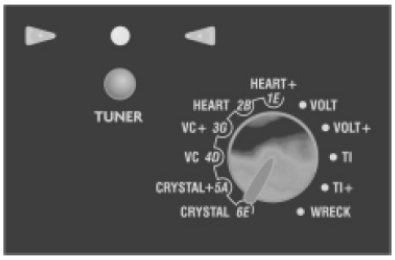
(22)ヘッドフォン端子：ヘッドフォン用、6.35mm ステレオ標準ジャック

(23)CHANNEL フットスイッチジャック:チャンネル切り替えのフットスイッチ（別売）を接続します。

(24)エフェクトフットスイッチ：MOD FX の on/off と DEL FX の on/off の切り替えフットスイッチ（別売）を接続します。

その他の機能

＜チューナー機能＞



(3)(4)(5)(14)チューナー操作：　アンプのチューナーボタンを押すことによって、チューナー機能を作動させることができます。チューナー操作時は、チューナーボタンの上に位置するLEDが点滅します。CH2のAMP選択のつまみを各弦に合わせてチューニングを行ってください。表示は1E,2B,3G,4D,5A,6E となり、1が高い"E"、6が低い"E"となります。チューニングが合ってくると、中心のLEDが点灯します。
(チューニングが定まってくると、中心のLEDと矢印のLEDが点滅の速度が上がります。)
チューニングが合うと、LEDの点滅が止まり、中心のLEDのみ継続的に、点灯します。これを、各弦で繰り返し調整してください。チューナーの機能を終了する場合は、再度"tuner"ボタンを押してください。

＜AUX IN＞

(19)電源:ON/OFF を切り替える主電源スイッチ。

(11)入力ジャック:ギターを個々に接続します。

(1)AUX IN ジャック: CD/MP3 プレーヤーや iPod を 3.5mm ステレオミニプラグケーブルで接続します。音量はプレーヤー側で調節してください。

＜サウンドメイク＞

(2)(14)アンプ: CH1 と CH2 のコントロールは、11 種類のアンプのモデルから、それぞれ選択することができます。

(2)(14)CHANNEL 1 & 2 設定: CH1 と CH2 にセットされた設定は、チャンネル間で切り替えても保存されます。たとえば、CH1 はコーラス、リバーブを効かせたクリーンなサウンドを設定、CH2 をオーバードライブサウンドに設定しておくことにより、異なる 2 つのサウンドを自由に組み合わせることができます。両チャンネルの設定は、電源を切った後も保存されます。

(6)(12)両チャンネルのボリュームコントロール: それぞれのチャンネルにコントロールがあり、プリアンプの出力を調節します。

(7)(8)CONTOUR/PRESENCE: Contour コントロールはベースとミッドのミックスで、Presence コントロールはブライトとトーンを調節します。

(9)(15)(16)MOD FX: ON のボタンを押すと作動します。このコントロールは、様々なエフェクトを生み出し、ユニークなサウンドを奏でます。必要なスタイル、またはアンプモデルにより, コーラス、フランジャー、フェイザー、トレモロから選択してください。LED は、使用するエフェクトのモジュレーションにより点滅します。これらの設定は、CH1 と CH2 の個々に設定できます。

(10)(17)(18)DEL FX: ON ボタンを押して作動させてください。ディレイの長さを調節していくと LED はディレイの時間により点滅します。半分を超えるとリバーブの調整と切り替わります。

※FOOTSWITCHES: 背面パネルには、2 つのフットスイッチを接続するためのジャックコネクターがあります。

(23)CHANNEL: チャンネル間の切り替えのため、モノラルジャックのフットスイッチを使用してください。

(24)EFFECTS: MOD FX ON/OFF と DEL FX ON/OFF 切り替えのために、ステレオジャックのフットスイッチを使用してください。

(22)HEADPHONE/RECORD OUT: 背面には、ヘッドフォンに使用するための、6.35mm ステレオジャックが装備されています。この出力は必要に応じて、レコーディングのための mixing デスクに接続する際にも使用します。

※ 内部のスピーカーは、ヘッドフォンを使用しているときは自動でミュートされます。
もし、3.5mm ジャックのヘッドフォンをお持ちの場合、アダプターが必要となります。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらまず次の項目をチェックしてみてください。書かれている通りに対処しても症状が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

・前面/背面パネルや換気口が熱を持っている。

・本機の使用中は、真空管の発する熱によって前面/背面パネルや換気口が熱を持ちます。故障ではありません。

・電源プラグは正しく接続されており、POWER スイッチもオンになっているが、電源インジケータが点灯しない。

・POWER FUSE フォルダのヒューズが切れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

・電源インジケータは点灯するが、音が出ない。

・スタンバイモードになっていないか確認してください。スタンバイモードになっている場合は、STANDBY スイッチを下に倒してスタンバイモードを解除してください。

・背面パネルの EFFECTS LOOP スイッチを[SIDE CHAIN]または[INSERT]にしたときは、FX RETURN LEVEL コントロールの設定が低いと出力音量が小さくなります。音量を上げても音がでなかったり小さかったりする場合は、FX RETURN LEVEL コントロールをゆっくりとすこしずつ上げてみてください。

・HT FUSE フォルダのヒューズが切れている可能性があります。お買い上げの販売店に御相談してください。

・コントロール類が効かない。徐々にパワーが落ちる。

・真空管の劣化または破損の可能性があります。お買い上げの販売店に御相談してください。

修理について

故障かなと思われる症状が出た時には、この取扱説明書をもう一度よくお読みになり、接続や操作などを御確認下さい。それでも改善されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。調整、修理致します。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より１年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。